

琵琶湖の保全再生についてのアンケート結果

★調査時期: 令和7年5月

★対象者: 県政モニター300人

★回答数: 272人 (回収率 90.7 %)

★担当課: 琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課

★調査目的:

令和7年(2025年)は、「琵琶湖の保全及び再生に関する法律(琵琶湖保全再生法)(平成27年9月27日施行)」施行後10年となる節目の年であるとともに、琵琶湖保全再生計画(第2期)(計画期間: 令和3年～令和7年)が終期を迎えることから、琵琶湖保全再生計画(第3期)の策定に向けた検討を行っています。

また、令和3年7月に策定した「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標(ゴール)である琵琶湖版のSDGsの「マザーレイクゴールズ(MLGs)」については、令和7年4月には賛同者が1,800者を越え、県内外においてMLGsの達成に向けた取組の輪が広がってきています。

さらに、令和6年12月には、国連総会において新たな国際デーとして、「世界湖沼の日(World Lake Day): 8月27日」が制定されました。この8月27日は、昭和59年(1984年)に滋賀県・大津市で開催された第1回世界湖沼会議の開会日に由来しており、地球上の表層の淡水の約90%を占める湖沼の重要性を認識し、協働して湖沼および関連する生態系を持続可能な形で維持・保全・再生を進める日となりました。

このアンケートでは、これらのことを踏まえ、「琵琶湖保全再生法」施行後10年の間に、琵琶湖の状況がどのように変化してきたのか、また、県民の皆さんと琵琶湖との関わりがどのように変わってきたのか等について調査し、今後の取組の参考にします。

■「琵琶湖保全再生施策に関する計画(第2期)」について

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/318240.html>

■「マザーレイクゴールズ(MLGs)」について

<https://mlgs.shiga.jp/>

■「世界湖沼の日(World Lake Day): 8月27日」について

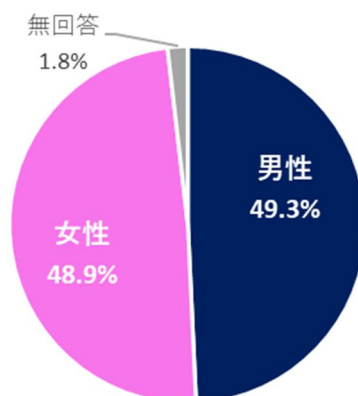
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/342674.html>

【属性】

◆性別

項 目	人数(人)	割合
男性	134	49.3%
女性	133	48.9%
無回答	5	1.8%
合計	272	100.0%

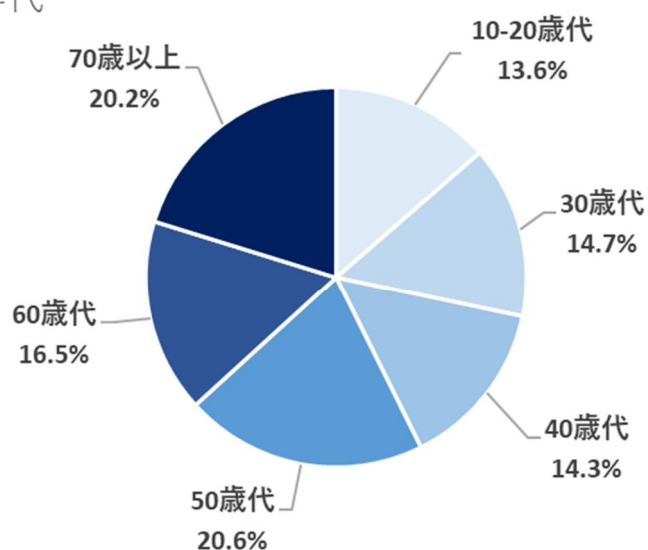
性別



◆年代

項 目	人数(人)	割合
10・20 歳代	37	13.6%
30 歳代	40	14.7%
40 歳代	39	14.3%
50 歳代	56	20.6%
60 歳代	45	16.5%
70 歳以上	55	20.2%
合計	272	100.0%

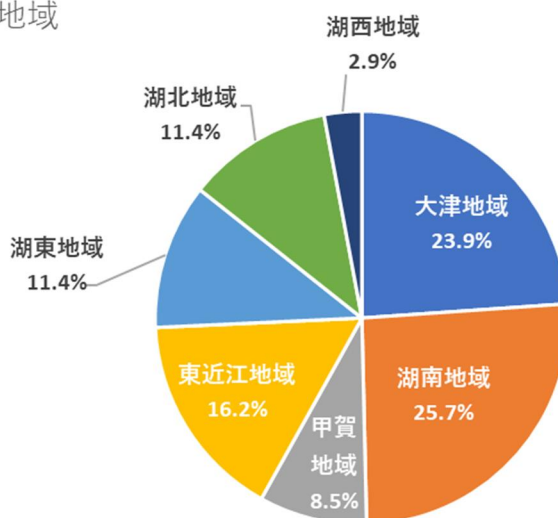
年代



◆地域

項 目	人数(人)	割合
大津地域	65	23.9%
湖南地域	70	25.7%
甲賀地域	23	8.5%
東近江地域	44	16.2%
湖東地域	31	11.4%
湖北地域	31	11.4%
湖西地域	8	2.9%
合計	272	100.0%

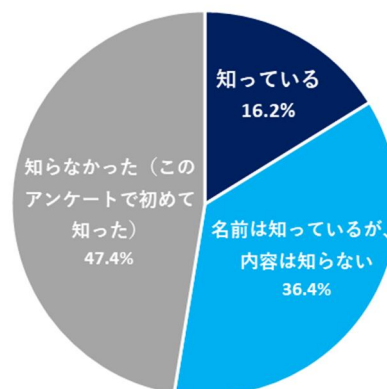
地域



問1 あなたは、琵琶湖に関する県の計画「琵琶湖保全再生施策に関する計画（琵琶湖保全再生計画）」を知っていましたか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合
知っている	44	16.2%
名前は知っているが、内容は知らない	99	36.4%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	129	47.4%
合計	272	100.0%

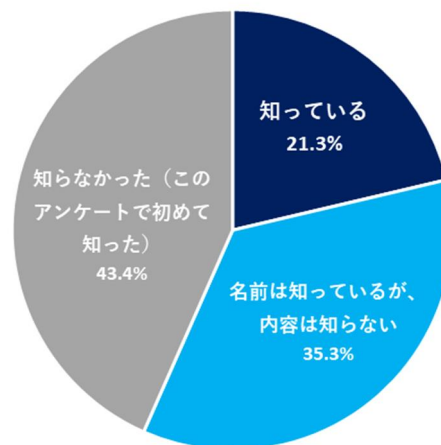
問 1



問2 あなたは、琵琶湖版 SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を知っていましたか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
知っている	58	21.3%
名前は知っているが、内容は知らない	96	35.3%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	118	43.4%
合計	272	100.0%

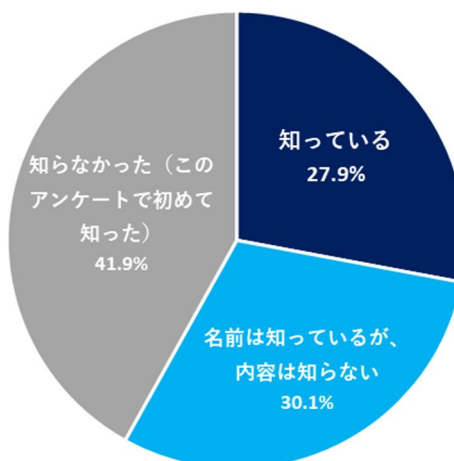
問 2



問3 あなたは、国連が定める国際デー「世界湖沼の日(8月 27 日)」を知っていましたか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
知っている	76	27.9%
名前は知っているが、内容は知らない	82	30.1%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	114	41.9%
合計	272	100.0%

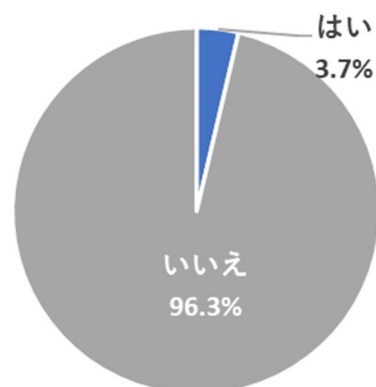
問 3



問4 琵琶湖や地域の環境を保全していくため、NPO 等の環境保全団体に所属していますか。
(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	10	3.7%
いいえ	262	96.3%
合計	272	100.0%

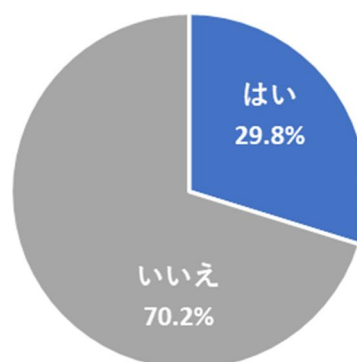
問 4



問5 過去1年間に環境保全活動(ゴミ拾い、ヨシ刈り、川の草刈り等)や環境学習(セミナー、学習会、観察会等)に参加したことがありますか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	81	29.8%
いいえ	191	70.2%
合計	272	100.0%

問 5

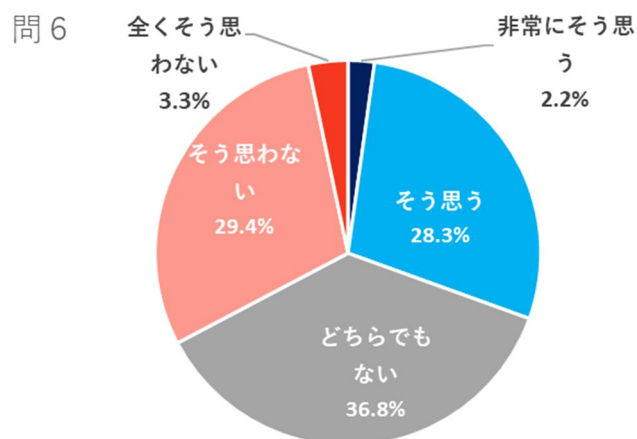


【具体的な活動内容(主なもの)】

- ごみ拾い
- 自治会主催の住居地域清掃(ヨシ刈りに関心はあるが、参加に至っていない。)
- 河川の除草や道路の清掃活動
- びわ湖放送野洲のおっさんごみ拾い、コープしが琵琶湖清掃活動など
- 川辺の草刈り、ゴミ拾い、琵琶湖博物館での学習
- 会社でのボランティア活動でのごみ拾い
- 環境保全活動:自治会の川掃除と草刈り、環境学習:地球市民の森や近江富士花緑公園のイベントを見に行ったり、水鳥観察センターに行ったり、琵琶湖博物館を見学した。(子どもが小学生くらいになったら積極的に観察会などに参加したいと思っている)
- 子どもに琵琶湖トラスト、海と湖財団のイベントに参加を促し、そこで保護者向けの研修に参加させてもらった。
- 自治会で清掃活動、おおつ市民環境塾の講座を受講
- 私ではありませんが、夫と子どもが、サントリーと平和堂主催の琵琶湖湖岸ごみ拾い会に参加しました。

問6 琵琶湖の水質・水量は良好だと思いますか。その理由もあわせてご記入ください(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常に思う	6	2.2%
思う	77	28.3%
どちらでもない	100	36.8%
そう思わない	80	29.4%
全くそう思わない	9	3.3%
合計	272	100.0%



【理由(抜粋)】

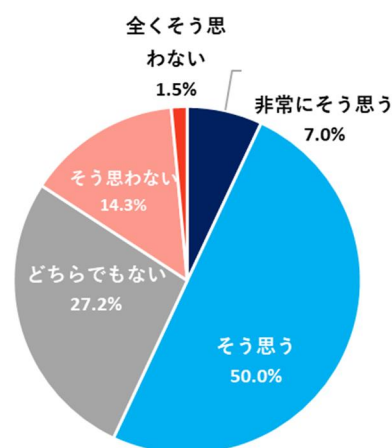
問6の回答	その理由
非常に思う	30 年前に比べて、美味しいと感じること、水量も含め安定していること。 見た目がシンプルにキレイだから。
思う	毎日、新聞の滋賀県欄を観ているが、びわ湖の水位をみて+-しているのを確認していて、全層循環も行われており、ある程度水量や水質とも良好と考える。 あまりよくないニュースは聞かないので悪くはないのかな、という認識です。 よく湖畔公園等に行きますがその時に見ると琵琶湖の水は澄んでいて綺麗に感じますので 以前に比べて赤潮などの話題が出なくなったことは良いと考える。一方、旧来からの魚類がいなくなるなどの話も聞いており、ある意味クリーンになりすぎたという瀬戸内海と同じ問題が発生しているのではないかと危惧しているところ。 近くの柳が崎の湖畔をよく歩きますが、臭いもなく、見た目きれいだと思うから 県の管理が行き届いていると思うから。昔はひどかったので……。 琵琶湖の水の色を見たときにきれいで水質が良好であると感じた。北湖でも全層循環が起こっているし、琵琶湖の水位の低下も小さいことから水質・水量は良好であると思う。 琵琶湖の水質は、北湖を中心に良好ですが、南湖では人間活動の影響が強く、引き続き対策が必要です。全体としては、行政・地域・市民の努力により、以前より改善されていると言えます。

そう思う	連休中、北小松と近江舞子の琵琶湖畔に行きましたが水辺はとても美しかったです。
どちらでもない	家庭や工場からの汚水は流れていないと思うけど、最近琵琶湖沿いで釣りやキャンプなどが多いことによるゴミ問題があり、何も解決策が立てられていないと思います。
	雨や土砂の影響か鮎の漁獲が減少していると聞きます。水質が良過ぎてもいけない。生態系を守る適度な水質の保持が大切だと思います。
	気候変動に左右される場合があるから。
	場所によって違うと思うので一概には言えません。
	水質は良くなってきていると思うが、水量についてはどの程度の水量なら良いのかわからない。夏になると、琵琶湖の水位は気にしてニュースなどで見ている
	水質や水量に関しては下流の府がもっと予算を組んで、昔からの事でしょうが、琵琶湖に対する取組を真剣に考えて欲しい。
	全層循環がニュースになるが、気候変動の影響があるのではと思う。
そう思わない	アオコの発生。又、この田植えの時期、川の水が濁っていて琵琶湖に流入している。
	琵琶湖沿岸や琵琶湖に流れている河川にプラスチックごみが見受けられることから。
	ゴミや水の色などはわたしの住んでいる地域では綺麗だが、やはり人口が多いところだと水が比較的汚くなってしまったり、ゴミが多い。また琵琶湖の深呼吸と呼ばれる、琵琶湖の循環がうまくいっていないことは気になっている。
	温暖化の影響で夏場の水量の低下が著しい時がある。 湖の全層循環が気候によって、上手く出来ない事がある。
	子どもの水遊び程度でしか泳げないのは、決して水質が良好だ、とは言えないのでは？水量についてはこの程度だろうな、という認識です。
	北部の方は水もかなり綺麗で泳げるくらいだと思うが、南部の方は水面に藻が多く発生しているのを見たことがあるので、場所により状況が違うと思う。
全くそう思わない	鮎の漁獲量が少ないので。
	大津市南湖周辺しか普段見ないのですが、藻が漂っていたり異臭も伴い水質は良いとは到底思えません。
	南の方の琵琶湖が、汚くて臭い。
	沿岸のゴミが目立つ。

問7 琵琶湖の生態系は豊かであると思いますか。その理由もあわせてご記入ください(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	19	7.0%
そう思う	136	50.0%
どちらでもない	74	27.2%
そう思わない	39	14.3%
全くそう思わない	4	1.5%
合計	272	100.0%

問7



【理由(抜粋)】

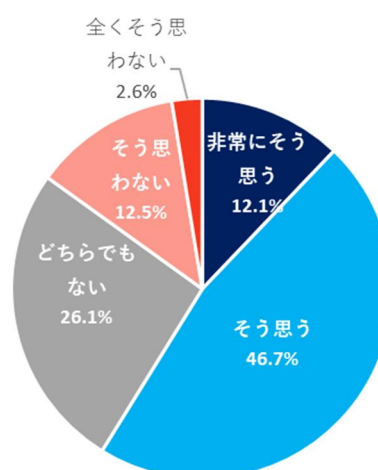
問7の回答	その理由
非常にそう思う	ブラックバスが多いけど豊かな水産資源がある
	季節によって様々な釣りが楽しめるから。
	固有種など様々な生物が生息しているから。
	琵琶湖博物館の展示を見ると、豊かであるのは明らか。ただし、日常生活において、そう感じることは稀だ。自分も、こんなに様々な動植物が(外来種も含めて)存在することは最近まで知らなかった。
	琵琶湖北部でよくシュノーケルをつけて潜る。小鮎をはじめ色々な魚を見ることができて、大阪や神戸に住んでいたものには別世界のような気がした。また湖岸を歩けば、鷺や鴨やオオバンが泳いでいたり歩いていたりするのを見る。これも大都市では見られない景色である。
	木々、びわ湖によりかなりの多くの昆虫や虫などがいる為その餌とする鳥類も多い。またサル、鹿、熊、キジ、リス、タヌキ類も他県と比べ多いと感じている。
そう思う	豊富だと考えますが、やはり、モロコやコアユやウナギなどが少なくなっているのではと感じます。要らない魚などが増え、昔、人が集まる行事時、大皿に盛られたモロコやコアユなどが高価で出せないという話で、皆、次第に出さなくなっていました。やはり、生活に密着したタンパク源は重要ですが、庶民が手の届きやすい価格でなければ購入されず離れていきますから、びわ湖特有の魚をが大量にいるというびわ湖が重要と考えます。
	SNS で琵琶湖の魚やキノコを発信している子どもさんを知ったため。
	60種以上の固有種や固有種以外の生き物もいる琵琶湖は生態系が豊かであると思う。
	スーパーマーケットの魚売り場で天然、養殖含めて琵琶湖産の小鮎、わかさぎ、もろこを購入しています。もっといろんな種類の魚が流通してほしいです。

そう思う	一時は外来魚の影響が心配されましたが、固有種の絶滅危惧もそんなに進んでないように理解しています。外来魚の完全駆除も難しいでしょうから、このまま共存してくれるとうれしいです(外来魚に係る条例は承知理解しています)
	科学館にて知りましたが、魚やプランクトンなどが沢山生息しているため。
	魚種が多く豊かであると思うが、種類によっては減少していると感じる。
	富栄養化や外来魚の課題は残されていると思うが、生息生物種数や固有種数を見る限り、豊かな生態系を維持できていると考えている。
	条例で管理が行き届くようになったと思われるから。
どちらでもない	いくつもの漁港が存在しているので多くの生き物が生息していると認識するが数年前のハス減少の危機や外来種の影響で減少していく琵琶湖固有種に懸念。
	ブラックバスなど外来種が増えて在来種が減少しているためそんなには良い環境とは言えないと思う
	そもそも琵琶湖の生き物についてよく知っていません。どうことがきっかけで、琵琶湖の生態系について知ることができるのでしょうか。
	もともとは豊かだと思うけど、今はよくわからない
	年々、琵琶湖の生き物が減っているように思う。自然な河川ではなく、人工的な部分があるから豊かではないのではないかな。
	豊かであると聞いたことがあるが、実際に感じたことがない。
そう思わない	ブルーギル等は少なくなったが、新たに別の外来種が見受けられることから。
	データを拝見する限り、「豊か」であるとは感じません。かつての琵琶湖を目標とするのであれば、違う意味での豊かさはあっても、歪んだ？豊かさなのではないかと。漁業への影響があることを考えれば、生態系の変化は望ましいものではないと思います。それを改善するための施策が組まれている訳ですから。
	外来生物が増えてきて、固有する生物が減少するのが現状です。共生が出来ない生物では、外来種を排除するしかない。
	昔はたくさん取れた小鮎が今はとても少なくなっていると思います。身近だった固有種がどんどん貴重なものになっていっている。
	外来種や水質の悪化によって漁獲量が減っているニュースなどを見聞きすることがあるので。
全くそう思わない	外来魚の影響で生態系に悪影響を及ぼしていると聞く。
	またカワウの異常発生によって魚が減ったとも聞く。
	魚介類の量が減っていること。湖底の酸素濃度が低いこと。外来種といわれる植物、魚介類が増えていることなどで生態系が崩れないか脅威を感じています。
	住める環境とは思えない、50年前の琵琶湖総合開発以降の琵琶湖は沼だと感じている。

問8 琵琶湖や湖岸の景観は良好であると思いますか。その理由もあわせてご記入ください。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	33	12.1%
そう思う	127	46.7%
どちらでもない	71	26.1%
そう思わない	34	12.5%
全くそう思わない	7	2.6%
合計	272	100.0%

問 8



【理由(抜粋)】

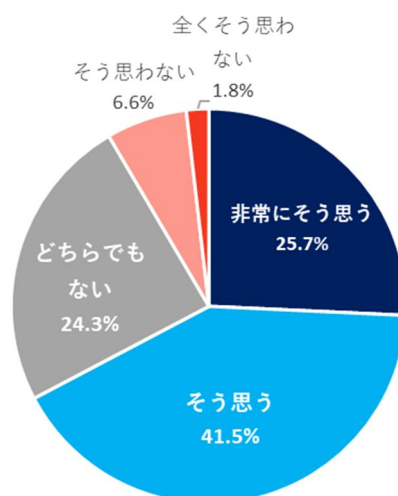
問8の回答	その理由
非常にそう思う	景観は最高。海のように大きな水 遠くに山(冬の冠雪は絶品)
	湖岸から眺める朝夕の景色、特に山々と琵琶湖との景色は最高だと思います。
	湖岸道路沿いなどが綺麗に整備されていて、車で走っていてもとても気持ちが良い、滋賀県民として誇りに思える景色だと思うため。
	長浜から見る夕日は格別 きれいすぎる
	遊覧船に何度も乗っているが、景色がとても良い。また、湖岸もきれいに整備されている印象。
	夕暮れから夜に、におの浜から大津京の方を眺めると、マンションの街灯などでとてもきれいに感じる。
	湖東からみる湖西は絶景です。
そう思う	県はじめ周辺の各市町がびわ湖や湖岸の景観維持のために尽力していると思う。
	4月に海津大崎の桜を見に行きました。ぐるっと車で琵琶湖一周して戻ってきたのですが、暮らしている地域と北では気温、風、景観が違い、同じ滋賀県でも違いがあるな、と感じました。
	おおむね良好であるが、藻が発生するのが気になる。より改善が必要。
	ゴミさえなければ琵琶湖の景色はとても綺麗に感じます。
	ビワイチが認知されはじめてきて、湖岸道路周辺の整備が進んできたから。
	ヨシ等の整備がきちんとされている。
	観光スポットはそれらしく整備されつつあると感じます。更なる発展を期待します。また、湖岸の公園や湖岸そのものが整備され始め、安全性を感じます。

そう思う	湖岸の景観が良好だと思うのは、自転車で琵琶湖を一周した際にどのロケーションからも湖面や田畑、山々の景色などの眺めを觀賞することができたため。
	湖岸道路を利用すると、長年変わらない琵琶湖が見られるので、木々の環境保護などを精力的にされていると感じる。
どちらでもない	あまり気にしたことがない
	レジャーなどで気軽に利用できる所は整備がされている反面、マナーの悪い利用者によって保たれていないように感じる。
	遠くに見える景観は、大きく変化したように見えないものの、人工的な構造物による景観形成は、景観が悪くなったものと勘違いしやすい状況ではないでしょうか。
	観光客の増加により、滋賀県の財政が豊かになる反面、琵琶湖や近隣の道路にもゴミが落ちている。一部、有料化になった駐車場もありますが、無料の駐車場ではそのような状況で、景色はゴミという状況があります。また、琵琶湖岸に流れてくるゴミも多いように思います。高齢者や障害者、外国人等の雇用を促進を進めていく方法の一つとして、琵琶湖の環境整備にご尽力いただいてはどうでしょうか？
	工業や産業による汚染や汚濁は顕著には見られないが、観光面での景観整備は不十分。マンションの乱立は特にマイナス要因。目先の収入につられすぎて、湖岸という滋賀県独自の観光資源を将来にわたって活用する意識が官民ともに欠落している。
	人工的な景観が果たして景観が良好だとするモノなのか疑問に思うため。 場所による。ゴミやタバコやら、ポイ捨てする人は普通にいますので、周辺住民次第では。
そう思わない	ペットボトル、缶、弁当のあとしまつが悪い。持って帰って欲しいです。
	以前に比べ湖岸に高層建物が建設され 親水スペースの整備なども進んで 景観は様変わりしています 時代に合った整備は必要だと思いますが琵琶湖の原風景は後世に伝えていくべきだと思います。
	自然が損なわれ周りの風景が建物だらけになりつつあるから。
	大津あたりに高層のマンション群が乱立している風景は美観を損ねていると感じる。
	道路や歩道が狭い。
全くそう思わない	ゴミ拾いをして、ゴミの多さに驚いたから
	最近、湖岸道路沿いの樹木が伐採されているのを見ると心が痛む。なぜ、そこまで切らないといけなかったのか。夏は日陰をつくってくれて、冬は琵琶湖からの強風を和らげてくれたのに、残念。
	大津市南部のマンション群の景観は「ひどい」と思います。 特に浜大津から唐崎の湖岸にかけてのマンションは、眉をひそめる景観。

問9 日常的な生活、文化、学習の場として、人々と琵琶湖との関わりは深いと思いますか。その理由もあわせてご記入ください。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	70	25.7%
そう思う	113	41.5%
どちらでもない	66	24.3%
そう思わない	18	6.6%
全くそう思わない	5	1.8%
合計	272	100.0%

問9



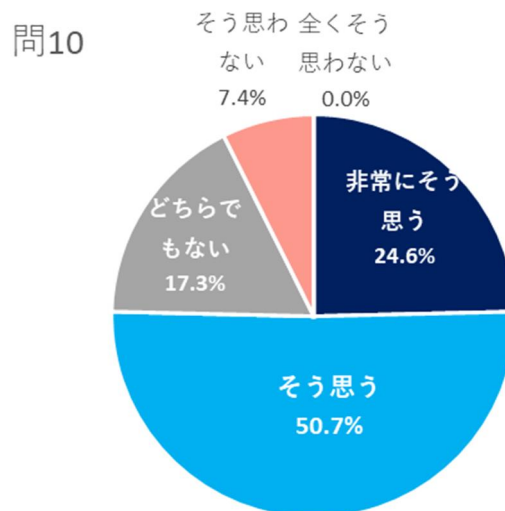
【理由(抜粋)】

問9の回答	その理由
非常にそう思う	粉石けん運動や琵琶湖の水を止めるなどという冗談を言ったりと日常生活に結びついているから。
	「うみのこ」では琵琶湖と関わる学習が出来ていると思います。
	「うみのこ」に私の子どもも参加しました。イベントで葦を使ったコーナーがあり、商業施設には作品があった。展示物や広報など関連した記事が多い。
	何よりも琵琶湖は、県のみならず京阪神の水瓶で、生活に欠かせないことから。
	この琵琶湖は、滋賀県だけで無く、日本の宝である！
	うみのこでの学習や琵琶湖博物館での学習が記憶にあるため。
そう思う	フローティングスクールで、子どもたちが琵琶湖と向き合い、自然と共に生きることの大切さを学ぶ貴重な体験をしている。未来の琵琶湖を守る担い手を育てる教育として、とても大切だと思っています。
	びわ湖を取り囲む連山の森林と森林に降り注いだ水が川を流れ琵琶湖に流入、県民の衣食住にびわ湖は何らかの深い係わりがあります。古代湖、日本一大きいびわ湖、子ども達は毎年、一泊で湖上に出て種類の体験をし、びわ湖の大切さなどを学習します。大和朝廷から戦国時代に至る歴史の中の舞台であり、歴史を目で見て学べる滋賀県です。これらの引き継がれてきた宝物を維持し繋いでいく使命があり、生活のプログラムに必要です。
	ミシガンやサップ、カヌーに乗れたり、ヨシ狩りをしたり、ビワイチなど琵琶湖に関するイベントがあるから。
	びわ湖清掃の日はずっと続いている。毎年、多くの参加者がある。 休日は湖岸で遊んでいる子ども連れの家族も多く見ます。また、ビワイチ、バス釣り等のアクティビティも人気があると感じています。

そう思う	滋賀県人にとって、昔からの食生活、水辺のスポーツ、飲料水は言うまでもなく、すべて琵琶湖を抜きに考えられない。京都市民への飲料水と電力だけでなく、京阪神への琵琶湖の恩恵も考慮されなくてはならない。
どちらでもない	「うみのこ」では琵琶湖と関わる学習が出来ていると思います。 ただ、日常の生活では琵琶湖との関わりを意識することがあまりありません。
	園や学校では琵琶湖に触れ合い、琵琶湖について学ぶ取組も積極的にされているので良いと思うが、社会人や家庭に入っている人たちにとっては関わる場面は少ないのではないと思う。実際自分自身も関わりがあると言われるとほぼないと思う。
	義務教育のフェーズでは人(生徒)と琵琶湖の関わりは十分に深い。ただし地域性あり(琵琶湖との距離に関係)。義務教育終了後においては琵琶湖とのかわりには大きな個人差がある。総じて関わりが浅い印象。
	生活の場としては湖岸道路が移動手段として優れているため琵琶湖を常に見て過ごしているが、学習や体験となるとそれほど触れ合う機会がない。
	場所によると思う。
	流域外の者にとって生活、文化、学習の場として中々考えにくいところがあると思っています。子どもたちは船に乗って学習する機会がありましたが、『成瀬は天下を取りにいく』などの小説を読むと流域の方々の生活には密着しているな、と感じます。離れた地域の方々との関わりを強くできる様な手段が必要ではないでしょうか。
	歴史的なところが多くセミナーなどに参加すると他府県などからの参加者も多く意見交換で知識が深まる。
そう思わない	琵琶湖博物館などの学ぶ施設はあり、小学生の時などに学ぶ機会はあったが、大人になるとあまり関わったり学んだりする機会がなくなってきた。積極的に学ぼうともしていませんが…。
	滋賀県の中で琵琶湖だけをクローズアップしても、あまり意味ないのではないですか。湖岸周辺の住民も、めったに琵琶湖を見る機会のない住民も沢山います。私は飲料水以外に琵琶湖を思うことはほとんどありません。文化と琵琶湖はピンときません。子どもたちは「うみのこ」に乗ったようですが、内容は聞いたことがありません。
	どちらにしろ、総合的な視点が必要ではないですか。
	琵琶湖は身近な存在だが、関わりは薄いように感じる。
全くそう思わない	専業主婦ですがそのような関わりがないので。
	住んでいる地域が琵琶湖から遠いこともあり、ほとんど関わりがありません。
	遊びに行く、と言って琵琶湖に行く人はほぼいない。 写真を撮りに行く、湖周道路をドライブする人くらいしか知らない。

問 10 琵琶湖は、漁業や観光など産業資源として役立っていると思いますか。その理由もあわせてご記入ください。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	67	24.6%
そう思う	138	50.7%
どちらでもない	47	17.3%
そう思わない	20	7.4%
全くそう思わない	0	0.0%
合計	272	100.0%



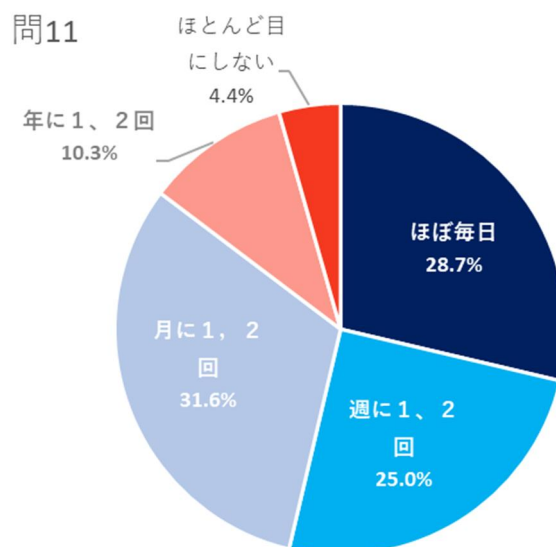
【理由(抜粋)】

問 10 の回答	その理由
非常にそう思う	「ミシガン」などを通じて観光産業に役立っていると感じる。
	スーパーマーケットでは湖魚の佃煮などが置かれ、ビワイチなどの観光資源として役立っているのを見かけるため。
	レイクビューのホテルを SNS でよく見かけますがとても綺麗で、県民ですが泊まりたいと思うくらい素敵でした。
	観光地としての琵琶湖は開発の余地がある。漁業者の高齢化は課題。
	景観、食は大いに関わっていると思います。
	産業資源は、水を意味します。近畿地区 1,400 万人の飲料水、農業用水、産業用水として不可欠。
	魚介類は生態系を改善し増やしたいですね。ビワマスは、北陸のます寿司のように加工するのがよいと思います。間違いなく売れます。シジミは生態系のバロメーターでもあり、増やしたいところです。外来種の魚と植物を取り除きたいものです。滋賀県はもっと投資すべきです。
そう思う	滋賀県民でも琵琶湖の雄大さや青さ空と山とのコントラストが綺麗と思うので、他府県や海外からの観光客には感じてもらえるものはあると思う。夏には若者の季節としての集客も定着している様に思う。
	他府県で、出身地はと尋ねられ、千葉県や佐賀県と聞き間違われることから、琵琶湖の滋賀県ですと答えるようにしている。漁業や観光などの産業資源は、琵琶湖と結び付けて説明すると役立つと思う。
	ある程度は価値を役立てていると考えるが、流れ的に京都の隣のちょっと足を延ばしてみるところという位置づけを脱し切れていない。京都とは全く異なった経験を日帰りでもできるという仕組みが確立できていない。

そう思う	琵琶湖は、レクリエーションの場として関西で人気がある。 湖でのカヌーやサーフィン、釣り、など、アウトドア活動が豊富で、健康志向の観光客にとっても魅力的です。また、湖畔での散歩やサイクリングも多くの人々に親しまれています。でも多く来られると、ごみ問題もでてくるので、それは心配。
	琵琶湖は観光に役立っていると思うが、もっと活用できるのでは無いかなと思う。
どちらでもない	もっと観光事業を頑張ってもよいと思う。湖岸沿いに高層マンションばかり建設するのではなく、リゾートマンションなどの宿泊施設を建設したら人気リゾートになるのではないかな。
	観光面では、県内外から琵琶湖を訪れ利用されていると思うが、漁業は衰退してきている。
	産業用には役立っていますが、観光用には魅力が少ない。
そう思わない	観光の面でうまく活かしていない印象がある。よく「滋賀県は琵琶湖しかない」と揶揄される。琵琶湖プラス観光(観光スポットやイベント)のセットになっていないことがその理由と思われる。宿泊してでも行きたくなる琵琶湖を目指すよう、集客力のある施設誘致が出来るといいと思います。
	観光資源としてもものすごく価値のあるコンテンツのはずなのにアピールが下手すぎる。自信をもっともっとしっかりとアピールしたらもっと沢山の質の良い観光客が招致出来るはず。
	京都の隣県にも関わらず、外国人観光客が殆どいないので。

問 11 どのくらいの頻度で琵琶湖を目にしますか。(n=272)

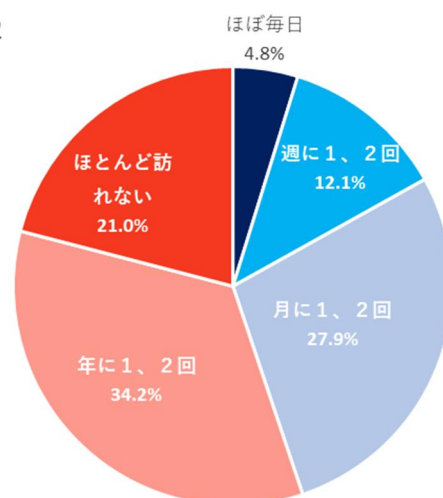
項 目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	78	28.7%
週に1、2回	68	25.0%
月に1、2回	86	31.6%
年に1、2回	28	10.3%
ほとんど目にしない	12	4.4%
合計	272	100.0%



問 12 どのくらいの頻度で琵琶湖を訪れますか(湖岸公園・湖水浴などの利用を含む)。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	13	4.8%
週に1、2回	33	12.1%
月に1、2回	76	27.9%
年に1、2回	93	34.2%
ほとんど訪れない	57	21.0%
合計	272	100.0%

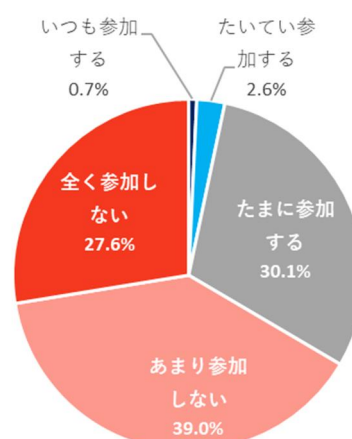
問12



問 13 琵琶湖に関する催し物(イベントや講演、シンポジウムなど)を見つけた際、どのくらいの頻度で参加していますか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
いつも参加する	2	0.7%
たいてい参加する	7	2.6%
たまに参加する	82	30.1%
あまり参加しない	106	39.0%
全く参加しない	75	27.6%
合計	272	100.0%

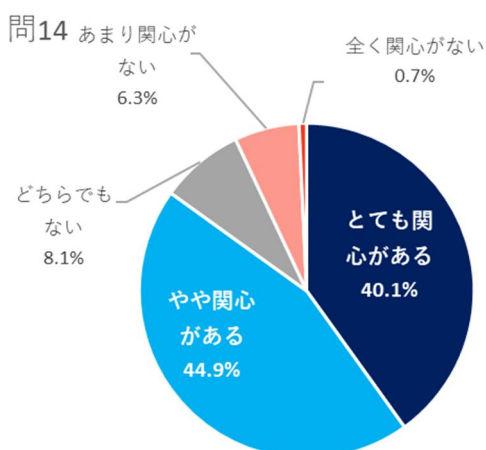
問13



問 14 新聞やテレビなどにおける琵琶湖に関するニュースについて、関心がありますか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
とても関心がある	109	40.1%
やや関心がある	122	44.9%
どちらでもない	22	8.1%
あまり関心がない	17	6.3%
全く関心がない	2	0.7%
合計	272	100.0%

問14

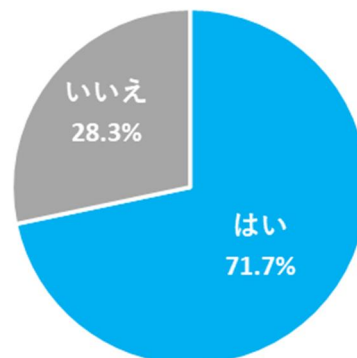


問 15 あなたは、家庭排水をできるだけ汚さないように、気をつけていることはありますか。

(n=272)

問15

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	195	71.7%
いいえ	77	28.3%
合計	272	100.0%



【気をつけていること(抜粋)】

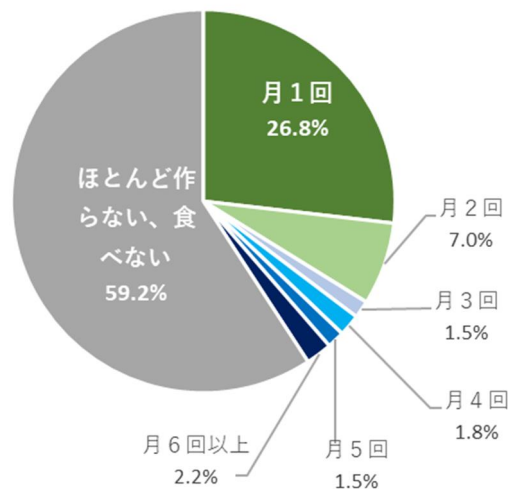
- 食べた後の食器は拭き取ってから洗う。土付きの野菜を洗った水は庭木の水やりに使う。
- 油物の皿などは布などで拭く。油は流さない。環境にやさしい石鹼を使用。柔軟剤は使わない。
- お風呂に入浴剤は入れない。
- キッチンの排水溝にネットをつける。浄化槽の設置。
- 下水以外には流さない。川にゴミを捨てない。
- 絵の具、油などは汚れた物はなるべく洗わず、古い雑巾やペーパーで拭き取りそのまま捨てています。お箸も資源問題から割り箸を使うことが控えられていますが、私個人としては、洗剤を使って洗う方が環境に悪いかな、と思って時々使っています。
- 食洗器を利用し、なるべく同じお水の量でたくさんのお皿や器を洗うようにしております。また、油で汚れたお皿やフライパンは、必ずティッシュペーパーでふき取るなど、お水を大量に使わないようにしております。

問 16 あなたは、どの程度の頻度で、琵琶湖で捕れた魚や貝を使って料理を作り、食べますか。

(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
月1回	73	26.8%
月2回	19	7.0%
月3回	4	1.5%
月4回	5	1.8%
月5回	4	1.5%
月6回以上	6	2.2%
ほとんど作らない、食べない	161	59.2%
合計	272	100.0%

問16

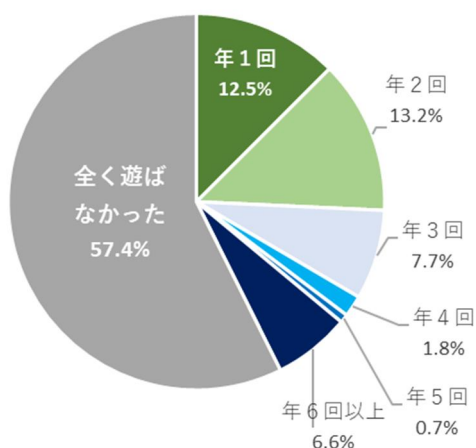


問 17 あなたは、過去1年間に何回、琵琶湖や川で遊びましたか。

(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
年1回	34	12.5%
年2回	36	13.2%
年3回	21	7.7%
年4回	5	1.8%
年5回	2	0.7%
年6回以上	18	6.6%
全く遊ばなかった	156	57.4%
合計	272	100.0%

問17



【どのようにして遊んだことがあるか(抜粋)】

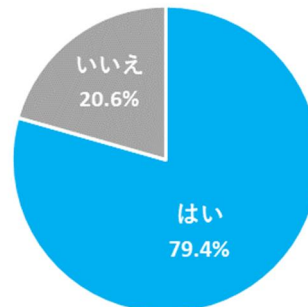
問 16 の回答	その理由
1回	BBQ や砂浜の浅瀬で湖を歩いたりしました。
	飼い犬に水遊びをさせた。
	マキノでキャンプをしました。職場のメンバー10名ほどでオートキャンプ。楽しかったです。
	水上カフェのイベントに行った。
2回	ウォーキング、デイキャンプ
	夏は和邇でBBQを泳ぎながら楽しんでいる。また朽木の川でも泳いでいる。
	近江舞子で泳ぐ
	湖岸や川で BBQ など。

3回	ドライブして、琵琶湖のまわり、各地を散策しています。どこに行っても、琵琶湖は素晴らしいですね。
	子どもと琵琶湖博物館の琵琶湖岸で遊んだり、野洲川で石を拾ったり、永源寺あたりで遊んだりした。今度はオランダ堰堤にも行ってみたい。
	琵琶湖畔のカフェでゆっくりした後お散歩しました。
4回	湖岸の散策。竹生島へのクルージング。
	長浜で水上バスに乗りました
	浜辺で風を受けて波を見つめたり、読書したりすることが多い。
5回	湖岸の公園で散歩など。
	川に出かけて散歩と植物観察。
6回	家から琵琶湖まで約5kmあり、また湖周道路を通ることが多いため、立ち寄ることが多く気分転換になる。
	夏は湖岸で水浴やカヤック。時々キャンプもする。春秋は湖岸で自転車。
	景色を眺め、澄んだ空気をたっぷり吸い込み、風や鳥のさえずりを感じてリフレッシュしています。

問 18 あなたは、自分の住む地域の洪水ハザードマップを知っていますか。(n=272)※洪水ハザードマップとは 国や県が公表した浸水想定区域図を基に、浸水想定区域周辺の防災に関する情報を市町がまとめたものです。

問18

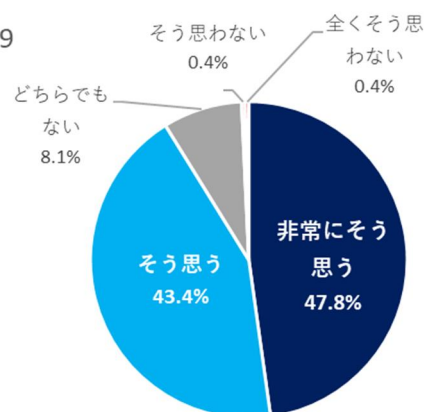
項 目	人数(人)	割合(%)
はい	216	79.4%
いいえ	56	20.6%
合計	272	100.0%



問 19 あなたは、琵琶湖や河川を大切に思っていますか。(n=272)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	130	47.8%
そう思う	118	43.4%
どちらでもない	22	8.1%
そう思わない	1	0.4%
全くそう思わない	1	0.4%
合計	272	100.0%

問19



【理由(抜粋)】

問 19 の回答	その理由
非常にそう思う	お米や農作物を頂くためにも、また飲水としても水は大切だから。大切にしたいと思います。
	びわ湖の存在が近年の(気温の)高温化を抑えていると感じるし、川の(適切な水量の)おかげで主に農業が成り立っていると思う。 故に、これからも琵琶湖や河川を大切に思い日々行動していく。
	50年くらい前、家庭排水等で非常に汚染されていたのが、様々な努力できれいになってきたのを見てきたので、できるだけ自然のままの美しさを次の世代に残したいと思うから。
	一つ目は、近畿地区 1,400 万人の飲料水であり、工業用水、農業用水であること。 二つ目は、山水に豊富な栄養分を含んでおり、生物の生命を保っている。 三つ目は、琵琶湖の水は、すべて淀川を介して海に流れる。琵琶湖の汚染が海水汚染をもたらす。
	一度汚染されると元にもどすのに時間がかかるか戻らないかもしれないので。
	飲み水として大切だから 琵琶湖は滋賀県民の誇りだから
	観光資源としても水資源としても滋賀県には必要不可欠なものだから。滋賀県には海が無いので水辺の景色は琵琶湖でしか得られないから。
	県民として、マザーレイクを次の世代に美しくして引き継ぐ義務があります。
	滋賀といえば琵琶湖というイメージが全国的にあるし、琵琶湖を望む景観は、毎日見ても飽きない素晴らしいものがあるから。海無し県だけど、まるで海がすぐそばにあるような。 京都に平伏してしまうこともあるが、琵琶湖という素晴らしいものがこの県にはあるのだから、それを自信を持って、誇りを持って 1 人の滋賀県民として生活していきたい。
そう思う	あえての理由はない。自身が住む地域環境を大切にしたいという一般的な考えによるもの。
	飲み水、農業用水、工業用水として使われる大切な水源で、水質が悪化すると、人々の生活に直結する問題が生じます。水資源の管理がきちんと行われることは、地域の発展に不可欠です
	河川や琵琶湖の環境保全が私たちの生活環境を守ることに繋がるから。
	景観としてだけでなく、子育てしやすい環境を提供することで、経済や地域のコミュニティを支えていると思うから。
	滋賀に生まれ育ち、自然が好きなので、普段利用しなくても、当たり前琵琶湖や河川を大事に思う気持ちはある。

そう思う	滋賀県の象徴だから
	水は人々の生活に無くてはならないものであり、生物にとってもかけがいのないものとして大切に思っています。
	直接のかかわりが少なくても、琵琶湖はやはり身近に感じるものではあるので、これからも守っていきたいと思う。
	琵琶湖は人々の生活に根付いており、また生き物の生息環境として重要だから。
どちらでもない	ゴミを出さないようにする工夫、お水を使いすぎ、など、基本的なことはできているつもりですが、すっごく意識しているかと聞かれると、あまり意識していないと思う。
	県外から移住した身なので、琵琶湖に対する思い入れは少ない方だと思います。
	幼少期には行く機会も多くて大切に思っていたのかもしれませんが、今は、機会も少なく、正直なところ何とも思いません。 琵琶湖が大切なものであることは、理解できても、それをどのようにして大切だという気持ちに向き合い、行動するかは別の問題です。琵琶湖や河川に対しての実感がないのだと思います。身近に感じてもらえる工夫があれば、だれもが思うことができるのではないかと思います。

問 20 「琵琶湖保全再生法」施行後 10 年が経過しました。この 10 年の琵琶湖の状況の変化や琵琶湖の保全再生の取組について、ご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- 琵琶湖や琵琶湖の流れている河川は、不法投棄にみられるようにゴミ箱のように考えている人が多いことから、「琵琶湖保全再生法」施行後10年を経過しているが、県民には届いていない。文書による啓蒙だけでなく、自治会に出向いて発信する活動が必要ではないか。
- 「琵琶湖保全」に関する広報が少なすぎると思います。「マザーレイク」の取組が以前からなされていますが、「SDGs」と同じで、掛け声だけの様な感じ方をしています。県民に伝わっていないですし、のぼりを上げているだけ・・・と反発している人がいるのは現実です。観光、景観よりも、琵琶湖の保全の重要性を身近に感じ取れる政策を強めるべきではないでしょうか。
- 「琵琶湖保全再生法」が施行された当時は滋賀県には住んでいませんでしたが、住んでいた 1995 年～2008 年当時、ブラックバスやブルーギルの外来種問題が大きく取り上げられていた記憶があります。今回のアンケートの資料を読んで初めて、ブラックバスやブルーギルの個体数が減ってきていて、ホンモロコ等の固有種の資源量が回復傾向であるとの情報を読み、琵琶湖保全のための地道な活動が実を結んできているのだと大変感慨深く感じました。
- 「琵琶湖保全再生法」というものを耳にする機会がないので、もっと PR していく方が良いと思う。資料を見ているとさまざまな取組がされているとのことだが、そのような取組が行われているという事自体今回初めて知った。琵琶湖を守り続けるためにも一人でも多くの人の協力が必要になると思うので、もっとたくさんの人に広めていけるような策も必要なのではないかと思う。
- 北欧やドイツを見ていると、back cast 思考で長期取組がされている。琵琶湖も最低 30 年計画が必要であろう。計画の目標値・施策があいまいではないか。例えば、「推進」は目標値ではない。目的、目標、施策を明確化すること。計画に併せて資源(人モノ金)を投資すること。
- 私は、県民の賛同・参加が得られていないように感じる。もっと県民が関わること、例えば、ゴミ問題について、ゴミは内陸で捨てられるので、内陸で回収せねばならない。そういった理解をし、県民自らゴミを捨てない、回収する文化を作る必要がある。三日月知事が先頭に立ち、首長とともに旗振りすればできる。琵琶湖の質は県民の質だ。
- この 10 年で特に琵琶湖の水質が良くなったとは思わないが、夏の水草や臭気は減ってきたように思う。
- こういった法律があったのは知りませんでした。外来種に荒らされている部分もあるので、少しずつ排除し、従来の生態に近くなるように願っています。
- びわ湖の保全について、水質汚染対策を実施されて、その成果を上げて来られた事と思います。ひとつの想いですが 100 年の昔、びわ湖の水はほぼ自然の循環過程に於いて再生されていました。循環のメカニズムを再考して再生の能力を自然に学ぶ事により治癒力を持続可能とさせる。農業で水田が果たした役割の中で、ため池と水田の生物に加えて、植物に学び水質の浄化を促す事で自然な循環が可能となるでしょう。まずは、水に学び水の持つエネルギーを循環に活用する方策が継続的な政策として必要と考えます。
- ブラックバスなどの外来種対策に関してのニュースなどをよく見聞きする。またバス釣りをする知人などもバスを釣ったら放流せず回収ボックスにいられているという話を聞くので外来種対策に対しての取組は効果が少しずつ上がってきているように思う

- 水質保全に関しては昔の富栄養化防止条例で粉石けんの利用促進のときに比べると少し温度感が低いように感じてしまう。
- 一般市民に内容や活動を知らせる取組がまだまだ弱いと思われる。メディアにより多く掲載されたり、日本の中でブームになるような思い切った計画の立案と実行を検討されたほうが良いと考える。
- 何を保全しているのか？どのような活動をしているのか？わからない、知らない。
- 一人一人ができる事は、微々たるものだ。行政がもっとしっかり考えてほしい。
- 琵琶湖の環境保全には、県だけで無く、国にも働きかける活動や、啓発活動を行って、国会でも話し合いをしてほしいです。年に一度は、大臣や総理大臣に来てもらい、実際に琵琶湖を見てほしいです。
- 琵琶湖の見える地域に住んで、もう 20 年以上になるが、琵琶湖保全の面では、大津の南部の地域では、湖岸が整備されていると感じる。
- 琵琶湖の水は美しくなったが、逆に栄養不足で生物が育たなくなったのではないかと思う。
- 琵琶湖の水質がよくなっていることとの関連は断定できないものの、良い方向に進んでいそうなので、この方向で取り敢えず活動するのが良いと思います。
- 琵琶湖の水質は一時の最悪の状態からは改善されたように見えるが、まだまだ改善の余地があるのではないかと思う。また、保全は何もしない保全ではなく、漁業、産業、観光などにも有効に活用して、県民の生活に役立ってこそ保全の意味がある。一般の県民には何が琵琶湖の保全に役立つのか、啓発活動がもっと必要ではないかと思う。マスメディアなども使って、もっと保全をアピールしてもらいたい。
- 琵琶湖は近畿圏において治水上又は利水上重要な役割を担っていることについて滋賀県民のみならず近畿の皆さんにもご理解頂きたい。
- 琵琶湖は比較的綺麗に保たれていると感じますが、一方で県外から来た釣りをする人々が魚を捕りすぎていたり、有料駐車場に車を止めず、路肩駐車をして近隣住民が迷惑を被っているというニュースを見て、少し不安に感じています。
- 川の保全をしっかりとしてほしいと思います。
- 琵琶湖を自ら清掃をしたくなる企画があれば、面白いと思います。例えばですが、琵琶湖のごみを 10 キロにつき、しが割を 1 枚プレゼントなど。2 年前にしが割という、キャンペーンがあり、かなり人気で抽選でしたが、ごみ拾いをすれば、必ずしが割がもらえ、地元のお店も潤い、一石二鳥以上になるかと思います。
- 琵琶湖を守るために森を育てることが大切だと思う。
- 琵琶湖を守るための取組について発信していただいて、みんなが琵琶湖の保全について意識できるようにしてほしいと思います。
- 私自身琵琶湖から少し離れたところに住んでいるので、普段は琵琶湖を意識することが少ないです。琵琶湖の現状や日常生活で気を付けることなど分かりやすく教えていただけると取り組みやすいと思います。

- 琵琶湖総合開発時代は開発について訴訟が提起され、争いが長く続きました。富栄養化防止条例、つまり石けん条例など滋賀県の取組がクローズアップされましたが、いまはどうでしょうか？かつての情熱は感じられません。新たな視点での取組を発信していくことが求められていると思います。多くの県民を巻き込んで盛り上げを図っていく時代にきているのではないのでしょうか。
- 様々な取組をしてくださっていること、今回のモニターアンケートで初めて知ったことも多くありました。滋賀県に住む当事者としてこれからもその取組を応援したいと思います。
- 様々な対策を講じられていることが理解できました。中々成果が出てこない、じわじわと少しずつは上向いているのかもしれません。難しいことであるとは思いますが、短期的な目標も設定して対策が実施されているかと思いますが、結果を十分精査してフレキシブルに最善の方法で実施していただきたいと思います。琵琶湖から離れた地域に住んでいる者にとっては、なかなか琵琶湖を意識しがたい部分があります。その点についてもいい施策はないのでしょうか。例えば、「食」に目を向けて、漁業の活性化から琵琶湖の味を様々なアイディアで変身させて、広く知ってもらい、展開できないかと思います。